

1. 概要

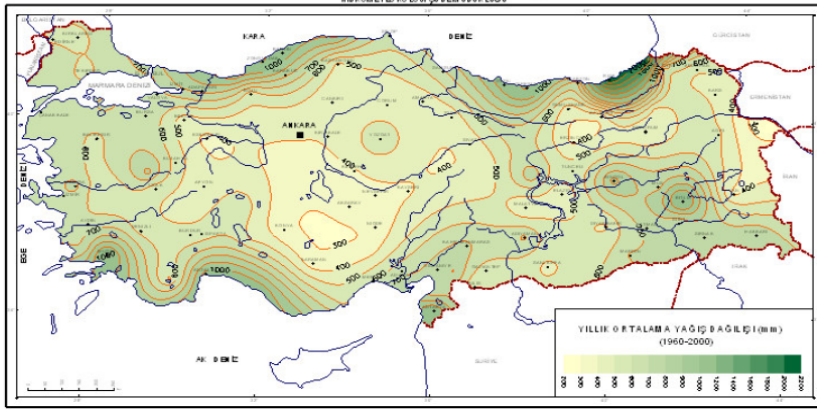
- 国土: 780,576km²(日本の2倍)
- 人口: 約7,391万人(2008年)
- 首都: アンカラ
 - 最大都市はイスタンブールである。なお、同国の都市人口率は高く、約68%



2. 特徴

- 地理・気候
 - 冬季は温暖・湿潤、夏季は熱帯・乾燥性の気候の温帯性気候である
 - 南部の年間の平均気温は18~20℃、西部では14~15℃であり、内陸部は4~19℃となっている。
 - 年間平均降水量は593mmとなっている。地域・時期による変動が大きく、水不足は毎年のように発生する
 - 西部および南部の沿岸地域では年間降水量が800~1000mmであるが、北部の沿岸地域の降水量は1260~2500mmに及ぶ。内陸は最も降水量が少なくおよそ200~600mmとなっている。
- 経済情勢
 - マクロ経済はやや減速傾向にあり、近年の金融危機後、IMF等の国際金融機関の支援を得ている
 - 中央アジアから欧州へのエネルギー輸送の要衝としても注目を集めている
- 水資源
 - トルコには主に26の流域が存在している
 - ほとんどの河川はトルコに源を発しており、国内には120の自然湖沼ならびに579の人口湖が存在している。
 - トルコはユーフラテス川のおよそ90%の流出量を担っている。残りの10%は上流のシリアからの流出であり、下流のイラクに流入する。また、チグリス川についても流出量の49%を担っている。
 - トルコの河川は季節や年により流量の変動が激しい。そのため、水供給、かんがい、発電、洪水調節などを目的としたダムが数多く建設されている
 - Ataturkダムの建設にあたっては、ダムの湛水に伴い下流のイラクおよびシリアへの流れが断たれ国際問題となった
- 水利用
 - 農業用水に約74%、水道用水に約15%、工業用水に約10%
 - 人口あたり取水量は549.3m³/年となっており、日本(695.8m³/年)の約8割
 - 主な水源は地表水となっており、水需要に対する供給を確保するため、数多くのダムを建設している
 - 2003年時点では水資源ポテンシャルの約36.5%を使っているが、2030年には国内の水資源ポテンシャルを最大限活用し、現在の約3倍の水需要を満たすことを計画している

DEVLET METEOROLOJİ İŞLERİ GENEL MÜDÜRLÜĞÜ
T.C. İKLİM BAKANLIĞI
MİLLÎ HAVA KUVVETLERİ GENEL MÜDÜRLÜĞÜ



平均年間降水量(1960年~2000年)



トルコの主な河川流域

トルコの水に関する主な動き

3. 上下水道事業

- 上水道
 - 2006年現在、82%の人口が水道ネットワークに接続されている。
 - 浄水場により処理された水道用水が給水されているのは41%
 - 水道用水として取水された水のうち浄水処理を経て供給されているのは47%であり、浄水場の数は139となっている
- 下水道
 - 下水道については人口の約72%が接続されており、下水処理人口は約52%となっている

4. 水に関する行政機関

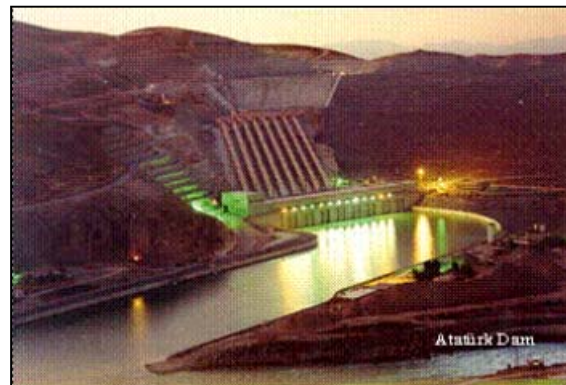
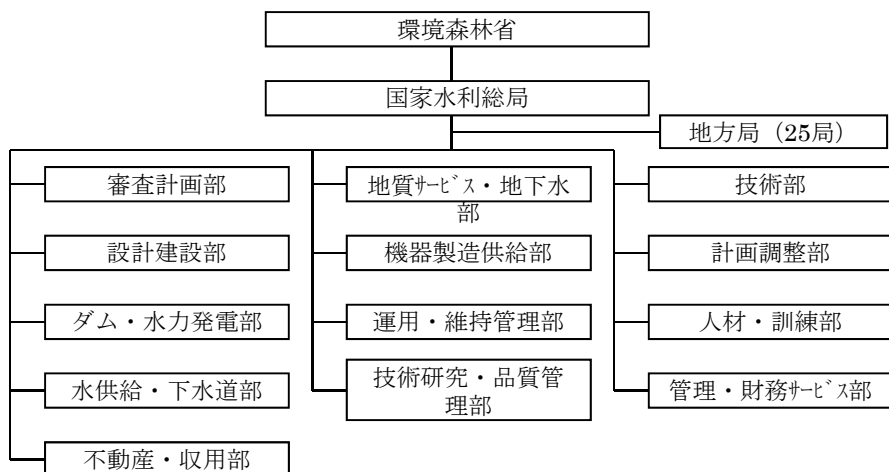
- 国家水利総局
 - 環境森林省国家水利総局は1953年の国家水利総局設立法によりエネルギー・天然資源省の管轄下に設立された
 - 同局はすべての水資源及びこれに関する計画、管理、運用に関する業務を実施している
 - 具体的にはダム、水力発電所、水供給、灌漑に関する計画、設計、建設、運用である。さらに建設資材等の研究もおこなっている

5. 水に関する政策

- 水に関する基本計画
 - 中央政府によって管理されるが、一部は地方当局の財源及び計画で行われる。
 - 地方水公社は5年から10年間の投資、戦略的計画を策定しており、これらは政治的経済的な変化にともない改訂される。
 - 環境森林省では総合水資源管理を進めており、これに関する法律も制定される予定
 - 中央政府の政策は流域に基づいた水管理を実施しており、こうした方法はEUの水枠組み指令の精神に非常に適合したものである

6. 課題とニーズ

- 総合水資源管理
 - 気候変動による水不足の深刻化、頻発する洪水や渇水への対応が挙げられる
 - 災害のための早期警報システムや水質・水量のモニタリングシステムが必要とされている
 - 水不足に対処していくため、水資源開発による供給可能量の増大と、節水型農業の導入等による水利用の効率化を進めていく必要がある
 - 水資源の40%は越境水となっているため、越境水域の管理は重要な課題である
- 水資源開発
 - 季節や年による流出量の増減が激しいため、経済成長を支えていくためにも、新規施設の建設が不可欠
- 上下水道の整備
 - 都市域への人口流入の傾向が続いており、今後も特に下水道分野におけるニーズは高まることが予想される
 - 資金確保の手段としては、BOT形式による民間セクターの参入・投資を促進している



Ataturkダム